

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

令和7年 11月 17日

国土交通省港湾局長 殿

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社 明翫組
所在地	〒921-8034 石川県金沢市泉野町6丁目15番15号
代表者役職・氏名	代表取締役社長 明翫 圭祐
担当者連絡先	電話: 076-242-3411 メール: main@myogan.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.myogan.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は大正6年4月に創業した総合建設業者であり、石川県の港湾、海岸を中心とした海上土木工事、浚渫工事、その他一般土木工事の請負を実施している。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	「海の豊かさ、陸の豊かさを守る」ために地域貢献活動を積極的に実施する。	・毎年2回以上海岸や港湾、道路の清掃活動に参加する。
□環境 ✓社会 □経済	「働きがい」のある職場作り。	・従業員の有給休暇を年間10日以上取得する。 ・時間外労働時間 20時間/月
□環境 □社会 ✓経済	「継続的雇用」 「技術の継承」	・2年間に1人以上の継続的雇い入れ。 ・次世代（高校生）就業体験や見学会を年1回実施。

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメントを禁止する旨就業規則に明記している。 ・総務部長を相談窓口としている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・完全週休2日制を導入するとともに、社員に有給休暇10日以上の取得を積極的に推奨している。 ・水曜日をノー残業デーとしている。								8.5 8.8							
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・毎月、各現場の安全パトロールを実施し、その結果を社員全員にフィードバックすることで、事故防止に努めている。 ・ABC+D活動を実施している。(あたりまえのことを馬鹿にせずにちゃんとする+どこまでも)		3						8							
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・社長と総務部長とで管理職以下の社員に対し、年1回のメンタルサポートを実施している。(不満、悩み、会社に対する要望等の聞き取り。ほめる点、改善する点のフィードバック)		3													
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・社員の資格取得に向けて外部スクールへの受講料補助、各種試験受験料の補助を支給している。			4	5.5			8	9							
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3						
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・毎年1回の健康診断受診を実施に加え、45歳以上の社員に対しては5年毎に1泊2日の人間ドック受診を実施している。 ・社員のインフルエンザ予防接種費用を全額補助している。		3					8								
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる												11.6	12.4 12.5		14.1	
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・本社電気使用量の年間取組目標値を定め、社内に毎月の実績を周知の上、電気使用量の削減に努めている。							7.3					13			
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている							7.2 7.3					12.4	13.3			
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・工事着手前検討会において、有害物質等の把握、取扱方法、撤去方法など処理方法をあらかじめ決定し、現場作業に当たっている。		3.9			6.3				11.6	12.4					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15 16 17 18 19 20	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・工事現場で発生する汚水をろ過し、綺麗にした上で、排水している。 ・海洋ゴミ、河川ゴミの削減・清掃活動に取り組んでる。								6.6							15		
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる									6.4									
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・ISO14001認証を取得している。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している														12.6				
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる									7.2					13				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる														12.2	13	14	15	
21 22 23 24	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9										12.4				
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・ISO 9001認証を取得している。 ・新6S活動を社内の基本活動方針として定め(smile、safty、smart、speed、schedule、sharp)定期的に活動方針に沿った行動が行われているかのチェックを行っている。									9								
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる						6								12	13	14	15	
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25 26 27	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・会社として地域ボランティア活動に積極的に参加している。(金沢マラソン、クリーンビーチ、献血奉仕活動等) ・地域貢献として本社会議スペースの町内会への無償貸出や町内会の御神輿を本社倉庫にて預り保管している。				4							11			14	15		17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している									8	9		11	12	13				

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・経営理念を明文化し、弊社ホームページに記載している。 ・各部ごとにSDGs取組への年間目標を掲げ、社内全体でSDGsへの取組を共有している。									8	9						17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している																	16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																	16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)																16	17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・各現場作業所の着手前工事検討会において、安全対策や環境対策を洗い出し、実施している。																16
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・災害時業務継続マニュアル(BCP)を策定している。 ・定期的に災害を想定した安全確認訓練を実施し、その都度、課題、評価を行っている。									9	11	13.1					16
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。)
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。